

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

より良い大宜味村にするために
思いを伝える、繋いでいく…

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



福地楽偉門 議長



幸山ひなの 議員



前田明志 議員



玉元花芽 議員



山上蛭太 議員



宮城松 議員



宮城優 議員



川上歙 議員



大城真乃 議員

令和5年度 大宜味村子ども議会開催

11月24日（金）、大宜味村議会場において令和5年度大宜味村子ども議会が開催されました。

今回は大宜味中学校1～3年生の11名が議員として選出され、「避難所の整備や案内板について」、「村内の街灯整備について」と言った村民の安全に関わることや「ビクターセンター周辺の整備」、「屋内複合施設の整備」についてなどの施設利用に関わること、子ども議会開始当時から提案されて

きた「ローソン横十字路の信号設置について」など村民だけでなく観光客の目線でも見た一般質問が出されました。提案に基づく資料も準備し答弁でも新たな質問を返すことができました。

子ども議会を終え、議員を代表して宮城松さんは「今回の子ども議会を行うにあたり、自分たちの村である大宜味村について学び、より良くしていくためにはどのようにしたらいいか自分たちなりの案を出し合うことができた。これからもたくさんのアイデアを出して村をより良くするため地域のみなさんと協力していきたい。今日体験したことを活かし、次世代の大宜味村を背負えるようになりたい」とふあいさつをしました。

議会の詳細については、後日発行される子ども議会だよりをご覧ください。



高江洲千歌 議員



宮城瑠依 議員

1年生：えがお ニコニコ 一年生



2年生：うたって おどって また あちゃや



11月26日（日）、大宜味小学校体育館において令和5年度きらめき発表会が行われました。1年生～3年生の元気いっぱいの歌やダンス、表現。4年生～6年生は落語劇や音読劇に挑戦。練習の成果を出し会場を沸かせました。

3年生：はらぺこあおむし



きらめき発表会

4年生：ぞろぞろ



5年生：大造じいさんとがん



6年生：KASAKOJIZOU ～かさこじぞう～



手づくりそばで家族をおもてなし ～ 令和5年度わんぱく体験団⑤「沖縄そばを作って振舞おう！」 第5弾「沖縄そばを作って振舞おう！」

11月4日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて令和5年度わんぱく体験団⑤「沖縄そばを作って振舞おう！」が行われました。

数年前のわんぱくに参加した団員は一度体験した沖縄そばですが、今回は作って食べるだけじゃない…、家族を呼んで自分たちが作ったそばを振舞うことまでが活動です。おいしいそばを作ってお客さんに喜んでもらうため、張り切っていきましょう!!

まずは、強力粉に水、卵、塩で作った仕込み水を加えて混ぜます。生地が一つにまとまったら、小さく分けてこねます。手でこねても足で踏んでもOK。コシのある麺になるよう20分間ひたすらこねていきます。思い思いの方法で生地をこねていくわんぱくたち。そばは麺が命。一つ一つの作業を丁寧に進めていきます。



20分こねたら、一度生地を寝かせます（ここがポイント!）。寝かせている間に今度はトッピングづくり。ねぎを細かく切り、卵を焼いて切り、かまぼこにも少し焦げ目を入れます。ちなみに汁とソーキは島袋経子さんが作ってくれたので、味は保証付き(*^_^*)/ 団員たちは麺とトッピング、おもてなしの心に力を入れます。

トッピングができた後も時間があるので、班ごとにメニュー（お品書き）づくり。イラストを入れたり、トッピングのありなしを選べたり各班工夫がこなされています。



眠りから覚めた生地を今度は伸ばして切る作業。麺はゆでると太くなるので、思っている以上に薄く細くしないといけません。伸ばして切ったら麺を茹でます。あとは出汁を入れ、トッピングしたら沖縄そばの完成です。



お客さんも集まり、いよいよ実食。麺は固くない?うどんみたいになってない?ちゃんと茹でてる?

ドキドキでしたが、どの班も美味しくできたよう。美味しい顔がいっぱい!今回は麺もトッピングも余らせることなく、すべて食べることができました。

美味しかったよ、みんな天才!わんぱくそば職人誕生です!!





第26回しまんちゅ芸能

10月28日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて、第26回しまんちゅ芸能が開催されました。

琉球舞踊や民謡、大正琴、フランダンスに加え、今回はギターバンドやエレクトーン演奏など新たなジャンルの演奏が披露され、会場も多いに盛り上がりました。



村の芸術家たちの祭典 第49回おおぎみ展

10月28日、29日の二日間、第49回おおぎみ展が開催されました。

今年度は子供たちと絵画教室で多数の参加をいただき、個人作品約60点、さらに小・中学校や子ども園含む8団体の作品も合わせ約500点の出品、来場者数は昨年より2倍ほど多く約334名の来場となりました。子供たちにとっては一緒に訪れた家族に自分の作品を紹介すると同時に、毎年ご協力をいただいている先生方によるプロの作品を間近で見る機会となりました。

来年はいよいよ50回を迎えます。50回記念ではおおぎみ展、そして大宜味の文化のいままでとこれからを繋ぐような企画を考えております。来年も多くの方にご覧にいただけるよう、また今年度興味を持った方にはぜひ来年出品者としてご参加をいただけるよう、皆さまをお待ちいたしております。



楽しみながら螺鈿細工を学ぶ 芸術講座開催

10月28日、おおぎみ展関連企画として「キラキラ★CD 螺鈿」講座を開催しました。

こどもの国からおなじみ宮里先生と友利先生をお招きし、本物のクジャクの羽やキラキラする生き物をみせてもらいながら“構造色”について学び、さらにおおぎみ展プレミア企画として琉球漆器の職人である前田國男先生をお招きして本物の螺鈿細工について解説を受けました。



キラキラの秘密と本物の作品を学んだあとは、CDの裏面という身近な素材で螺鈿細工のようなキラキラボックス作りにチャレンジ！先生たちもびっくりするような発想力と根気強い作業で、思い思いに素敵なボックスをつくりました。



『パステルアート講座』開講！

10月29日（日）10時より大宜味村公民館講座として『パステルアート講座』が旧大宜味小学校つどい室で開講されました。講師には昨年度に引き続き、パステルアートインストラクターの酒井麻里先生を招き、応募のあった10名の受講者がパステルアートを学びました。

パステルアートとは、パステル（クレヨンみたいなもの）をカッターで削って粉にして、誰でも簡単に指でクルクルと動かして美しい絵が描けるのが特徴です。受講者は、酒井先生よりパステルの使い方などを学び、各受講生は自分の好きな色を使い、それぞれの感性豊かな絵を描いていました。

参加された受講者からは「上手く描けてとても楽しかった」「また来年も開催してほしい」と感想をいただき、楽しくパステルアートを学べた講座となりました。



図書室情報 No.52 2023年（令和5年）12月 大宜味村図書室（旧議会議棟：村史編纂係内） 大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

利用状況累計 11月の統計（11/24まで）

- 来室者数...のべ2,907人
- 貸出冊数...4,880冊
- 登録者数...163人
- 来室者数...のべ104人
- 貸出冊数...72冊
- 現在の蔵書数...6,928冊

12月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

新着図書

- 『野草がおいしい』大滝百合子著
- 『コンビニ好きな虫のふしぎ』 盛口満著
- 『琉球列島における芭蕉布文化の起源を探る』カリヌ・ハント リックス著



※12月29日から令和6年1月3日まで年末年始休です。

※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。体調の優れない方は、来室を控えてください。

～寄贈資料の紹介②～

先月号でもご紹介した故福地曠昭氏の家族より寄贈していただいた、資料の一部をご紹介します。

Table with 2 columns: 史料名 (Document Name) and 年代 (Year). It lists various historical documents such as '喜如嘉 区会記録簿' (1945), '大東亜戦争国庫債券' (1942), and '喜如嘉の婦人会' (1945).



村史編さんだより



～寄贈資料の紹介①～

第152号 2023年12月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

令和5年9月21日、明治38（1905）年の大宜味間切時代の税金支払いの領収書や、終戦直後の喜如嘉校の通知表、班の行事のメモなど多岐に渡る貴重な資料・民具あわせて100点以上を譲り受けました。

◆寄贈資料の一部◆



- 1、税金の領収証書 明治38年度2期分（明治38年8月30日）
2、青年学校手帳 昭和10～14年度
3、支那事変ニ於ケル勤勞ニ依リ金參拾円ヲ賜フ 陸軍省 昭和15年4月29日
4、田嘉里幼稚園修了証 1964年3月21日
5、田嘉里酒造株式会社株券 1950年3月1日
6、議事録 一九五五年十月二十九日 墓修理相談事項
(他) 糸満漁夫奉公に関する証書（昭和5年）／販売品計算書 木炭（田嘉里産業組合 昭和13年4月11日）
・弔慰金裁定通知書（昭和29年）／軍用地使用領収書（奥間1957～1962年）／大東パイン契約書（1960年）
／村有林野売買契約書（昭和48年）／会計簿（田嘉里大工組合1957年）／筆記帳（種籾まき1959年度）
／琉球大学卒業生並修了生名簿（1958年度）……など

こども園の園児たちが図書室へ見学に来ました♪



11月10日、おおぞみこども園のゆうな組とひまわり組が新しい役場庁舎と図書室へ見学に訪れました。さっそく奥の部屋（旧議場）に設置してあるソファを見つけた子供たちは、嬉しそうに代わりばんこで休んでいました♪絵本もたくさんあるので、借りにきてね～！！



政信教育長のあじま～コラム

「読書の秋」

「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」・・・と秋は様々な言葉で形容されますが、皆さんはどのような秋を満喫していますか。年と共にスポーツが思うようにできなくなり、食べる量も減った私にとってはやっぱり「読書の秋」が一番という現状です。

私は教員の現役時代には校長講話でよく童話を活用していました。自分が講話を通して子どもたちに伝えたい内容と合う童話を選んで最後に読み聞かせで終わっていました。ですから、今でも書店に行くと童話コーナーではつい足を止めてしまいます。

童話といえばイソップ童話を思い浮かべます。そんな折「ありあふれた人間関係よりイソップ童話」という文庫本を見つけました。イソップ物語では、ご存じの通り、主に動物たちが登場します。その行動を通して読者に誠実や友情、勤勉などの道徳的ないろいろな教訓を教えてください。例えば「オオカミと少年」では、嘘をつき続けた少年が本当にオオカミにあった時、誰にも信用されず食べられてしまった物語は「嘘を言うことは悪いことだ」という教訓です。改めてじっくり読んでみると物語に隠されたメッセージの奥深さに驚かされます。

童話は一見すると子どもの向けのものと思われがちですが、少し見方を変えれば、私たち大人にも学ぶところが多いものです。この本は、イソップ童話がいくつか簡単に紹介されており、現代の世の中で大人の行動におきかえて、うまく生きていくうえで教訓を教えてくれる内容になっています。人を敬う心や感謝の気持ち、身丈にあった生活をする大切さなどを教えています。最後のページに「たくさんある童話の中のどれか一つでも、あなたの心に光をさすヒントとなり、あなたが前向きになれるきっかけになれるように」と書かれていました。読書の秋です。いろいろな本からいろいろな影響を受けていきましょう。

撮影：村山望

今月の生きもの

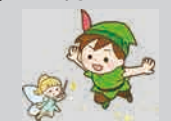
カワウ：ウ科

こんにちは♪私カワウです。私は冬になると県内各地の海岸やダム湖などに飛来する冬鳥です。私によく似たウミウという鳥もいるけれど、県内で見るウはほとんど私たちだと思って。

泳ぎも潜水も上手な私たちは魚獲り上手♪くちばしの先が鉤型になっているので、挟んだ魚は逃げられないの。体が大きくて1羽でも存在感のある私。集団で行動することが多く、群れになって飛んでいる姿は圧巻です。


12月の行事予定

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1日（金）区長会 | 20日（水）（中）クガニー発表会 |
| 2日（土）（園）生活発表会 中体連地区新人③ | 21日（木）定例教育委員会議 |
| 9日（土）中学校総合文化祭 ～ 10日 | 交通安全シークワサー作戦 |
| 15日（金）ウンネーウイミ（小）学級保護者会 | 22日（金）冬至 2学期終業式 12月27日 |
| 16日（土）九州ブロックPTA研究大会 | 24日（日）県童話お話大会 |
| おきなわ大会 ～ 18日 | 28日（木）官公庁仕事納め |
| 19日（火）（園）学級保護者会 | 31日（日）大晦日 |



ピーターパンの日

あっという間に12月です。今年は暑い期間が長く、衣替えをいつしていいかわかりませんでした。半袖は常時活躍しているし、肌着も夏と変わらない…。暖かいのは好きだけれど、秋服、冬服を楽しみたいなぁ。